



みたか環境ひろば

令和7年1月号 vol.90

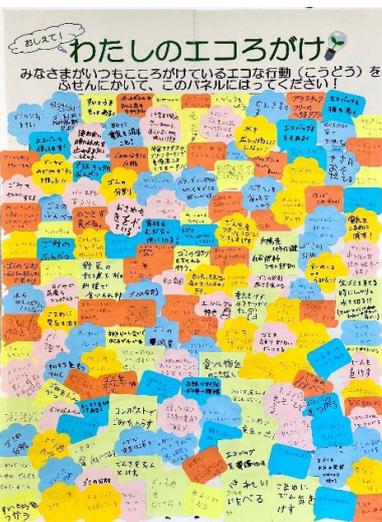
みんな読んでね!



1

「ふじみまつり」のイベント報告について

令和6年11月17日にみたか環境活動推進会議で第12回ふじみまつりに参加いたしました。ブースでは、地球温暖化防止クイズを4問出題し、2問以上回答された方にみつろうラップづくりを体験して頂きました。クイズの4問目には、あなたがしているエコロがけ



多くの方に書いていただいたエコロがけ

(エコな行動)として付箋に書いて頂き展示しましたが、ゴーヤを育ててグリーンカーテンを作った、エコバックを持ち歩いている、などエコ活動が浸透しているのを感じました。

また、トヨタモビリティ東京さんのMIRAIの展示と水素から電気を発生させる仕組みについて実験装置で実演して頂きました。ちなみに、みつろうラップを作成するのにアイロンを使用するのですが、電源は、MIRAIと公用車の電気自動車から賄いました。

参加されたこどもから大人まで楽しみながらエコ活動を身近に感じる催しとなりました。参加されていない方は、是非、来年のお越しをお待ちしております。(藤沢)



ふじみまつりでの様子

2

気候の変化と四季

私の近所の桜では、満開の時期が、20年ほど前は入学式の時期だったのに、現在では3月中旬の卒業式に満開の年があったりします。「暑さ寒さも彼岸まで」とはいかず、10月なのに半袖を着ていたりします。中秋の名月過ぎても秋の口、11月頃になっても蚊が、そう思う今日このごろです。今年も猛暑だったので、真夏にはあまり蚊がいなくて助かりました。ところが9月末になってから、蚊に刺されることが多くなりました。もう今年は大丈夫と思っていたのに。これではたまりません。

でも、今以上に温暖化が進んでしまうと、蚊取り線香も「夏の風物詩」ではなく、「秋口の風物詩」になりそうで大変なことです。気候危機、わたしたちにできることから考えたいです。

(石井)



裏面も読んで
くださいね!

3

最近の私の環境にやさしい暮らし方紹介

最近量り売りのお店をよく利用しています。過去の自分は日々思いつきで買い物していたので容器を持ち歩いておりませんでした。すると毎日のお買い物でプラスチックのゴミが増える一方です。今では以下の容器を準備しています。

- ・豆腐屋さんに行くときはお弁当箱を持参してお豆腐を入れてもらいます。お店の方にとっても喜ばれます。
- ・醤油や油、お酢、液体せっけんなどの液体は自分で決めた専用の容器を持参していきます。
- ・お茶→お茶用の缶を持参。
- ・鰹節、お砂糖など粉類→専用の瓶
- ・クッキー、大豆ミート→小さめの紙袋

これらをまとめて前日のうちにお買い物用のバックに入れておくようにしています。お気に入りの量り売りのお店は、三鷹地域ポイントでも買い物ができるのでとてもお得です。

地域でボランティアをしてポイントをいただき、地域のお店でプラスチック容器のないお店で必要な分だけ購入できて、家計にも無駄がなく、環境にも負荷がなく暮らせて、とても幸福感を感じます。(石原)



4

江戸時代の水車

大沢に江戸時代に造られ、使い続けられていた茅葺き屋根の母屋、土蔵、製粉小屋などが現存する、大きな水車があります。水輪は、直径4.6メートル（土俵の大きさと同じ）、幅1メートル、赤松でできていて、1分間に10～12回転します。14個の「ハコ」と呼ばれる部材を車軸から放射状に伸びる「クモデ」という支柱で支え、水輪が構成されている、全国的に見ても製粉精米用の水車としては、最大級の規模を誇ります。

江戸時代文化5（1808）年に創設され、平成10年には、東京都の有形民俗文化財の指定を、平成21年には、日本機械学会から機械遺産の認定を受けました。これだけの水車機構が残されているのは、全国で数か所しかない素晴らしい文化財です。水のかで水車が廻り、一年に一度、米やそばをゆっくりついたりひいたりしています。江戸時代から、環境に優しい生活をしていたと思うと、昔の人の知恵はすごいなあと思います。（大平）



水車の様子

●ぜひご参加ください●

環境講座

「家庭の省エネで脱炭素
～財布と地球に優しい暮らし」

日時：令和7年3月2日（日）午後2時～4時
場所：三鷹市公会堂さんさん館3階第1・2・3会議室
講師：環境カウンセラー 沼田 美穂 氏
受講料：無料
主催：みたか環境活動推進会議・三鷹市
申込：広報みたか2月1週号をご覧ください

★参加者プレゼント★
市内で見られる
野鳥のポストカード

次回の発行は令和7年4月の予定です

発行：みたか環境活動推進会議
(愛称 みんなの環境)
連絡先：三鷹市生活環境部環境政策課
電話：0422-29-9612(直)
E-mail：kankyo@city.mitaka.lg.jp



本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。